

令和  
7年度

# 事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS 発達支援センター熊本東



○事業所名	COMPASS発達支援センター熊本東 児童			
○保護者評価実施期間	令和7年9月10日	～	令和7年9月27日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)	27
○従業者評価実施期間	令和7年9月5日	～	令和7年9月16日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月14日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。 各担当者が会議や勉強会をおこなっており、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れて、計画書や日々の療育に取り入れております。	各担当毎に事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されています。 複数の地域に事業所があるので、不明な点などは指定権者に確認をし、法令に沿った事業所運営をおこなっております。	児童が安心して楽しく通所でき、成長を実感できる事業所を目指し、事業所間での情報共有や研修を通して職員の支援力の向上に努めながら、法令を遵守した事業所運営に取り組んでまいります。
2	定期的な訪問や事業所内での面談をおこない、児童およびご家族からの相談に対応しながら支援をおこなっております。	ご相談の内容は職員間で共有し、より適切なアドバイスができるよう支援会議をおこない、保護者様にフィードバックしています。 また、改善が図られたかを確認し、ステップアップの提案をするなど、その後のフォローも行っています。	ストレングスの視点を大切にしたり関わりを心がけ、児童だけでなく保護者様も前向きな気持ちで過ごしていただけるよう支援に努めてまいります。
3	就学前児童に対し、児童一人ひとりの特性に応じた移行支援をおこなっております。	隣接する放課後等デイサービス事業所と連携し、就学への意識を高めています。	保育所等訪問支援事業における園や小学校との連携を活かし、児童や保護者様と情報共有をおこないながら、就学および放課後児童クラブ等への円滑な移行につながるよう努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流機会が少ない状況があります。	利用児童の安全面や感染症対策、個人情報保護への配慮から、地域交流の機会を十分に設けることができていない状況があります。	地域の施設や公共機関との連携を検討しながら、児童の安全や保護者様のご意向に配慮しつつ、地域交流の機会を検討してまいります。
2	保護者同士が交流できる機会が少ない状況があります。	交流を希望されるご家庭がある一方で、個人情報保護や過度な関わりへの懸念から、開催が難しい状況があります。	保護者様のご意向を確認しながら、少人数での交流機会やイベント等を検討し、参加しやすい環境づくりに努めてまいります。
	個別対応のためのスペース(個室)を十分に確保することが難しいです。	施設の構造上、空間の分割や個室の確保が難しい状況があります。	限られた空間の中でパーテーション等を活用し、可能な範囲で個別対応ができる環境づくりに努めてまいります。



公表日: 令和 8 年 3 月 6 日